

「民主文学」購読申込書

●六月号より定期購読する
●「女たちの曠野」連載中のみ購読する

●当文学会入会案内請求

該当するものに○を

ご住所 お名前

☎

〒

いちばん身近な文芸誌

http://www.minsyubungaku.org

民主文学 2009 6月号

日本民主主義文学会編集・発行

毎月8日発売
定価 970円
(税込) 1084円

堂々連載開始

女たちの曠野

山形暁子待望の長編連載スタート

巨大銀行を舞台に、女性の自立と男女平等への闘いを描く



山形暁子 (やまがた あきこ)

一九四〇年、東京都生まれ。
都立白鷗高校卒、大手都市銀行で三十
六年間働く。
著書：『トラブル』（青磁社）
『家族の小径』（東銀座出版社）
『山形暁子短篇小説選』二巻

作者の言葉

かつて十二行もあった都市銀行は、現在、三大メガバンク体制に。その再編・統合の過程で七万人近くが削減されました。この巨大化は、そこで働く労働者や、庶民に何をもたらしたのでしょうか。

いま、この国をおおう未曾有の格差・貧困の根源も、先進国では例をみない遅れた男女格差の実態にあると言えないでしょうか。

この二つの問いかけを交差させながら、理不尽な差別に屈しないで、人間の尊厳をまもるためにたたかった女性たちを、心をこめて描きたいと思います。

これまでに銀行労働者のたたかいを数多くの作品に結実させてきた山形暁子さんが、「恐るべき全能の独占者」へと巨大化し激変した今日の大銀行を舞台に、たたかう女性たちの姿を、新たな視野で描く意欲作。遅しくおおらかで知的な、世代の違う女性たちの個性的な姿を、複数の視点と重層的な手法を駆使して描くこの作品は、世代を越えて引き継がれる女性の自立と差別撤廃のたたかいを、ひろく社会的・歴史的視野の下に捉えなおすことに挑戦。金融再編に激しく揺れるその時代は、コース別人事制度を発端に銀行労働者への搾取・差別が強行された時と重なる。一年にわたって『民主文学』がお届けする「女たちの曠野」を是非ご愛読ください。

上記を切り取ってハガキに貼るか、またはFAXでお送り下さい。メールでも構いません。

●送り先
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202

日本民主主義文学会

☎ 03-5940-6335

FAX 03-5940-6339

E-mail=info@minsyubungaku.org



この機会に『民主文学』を是非ご購読ください。